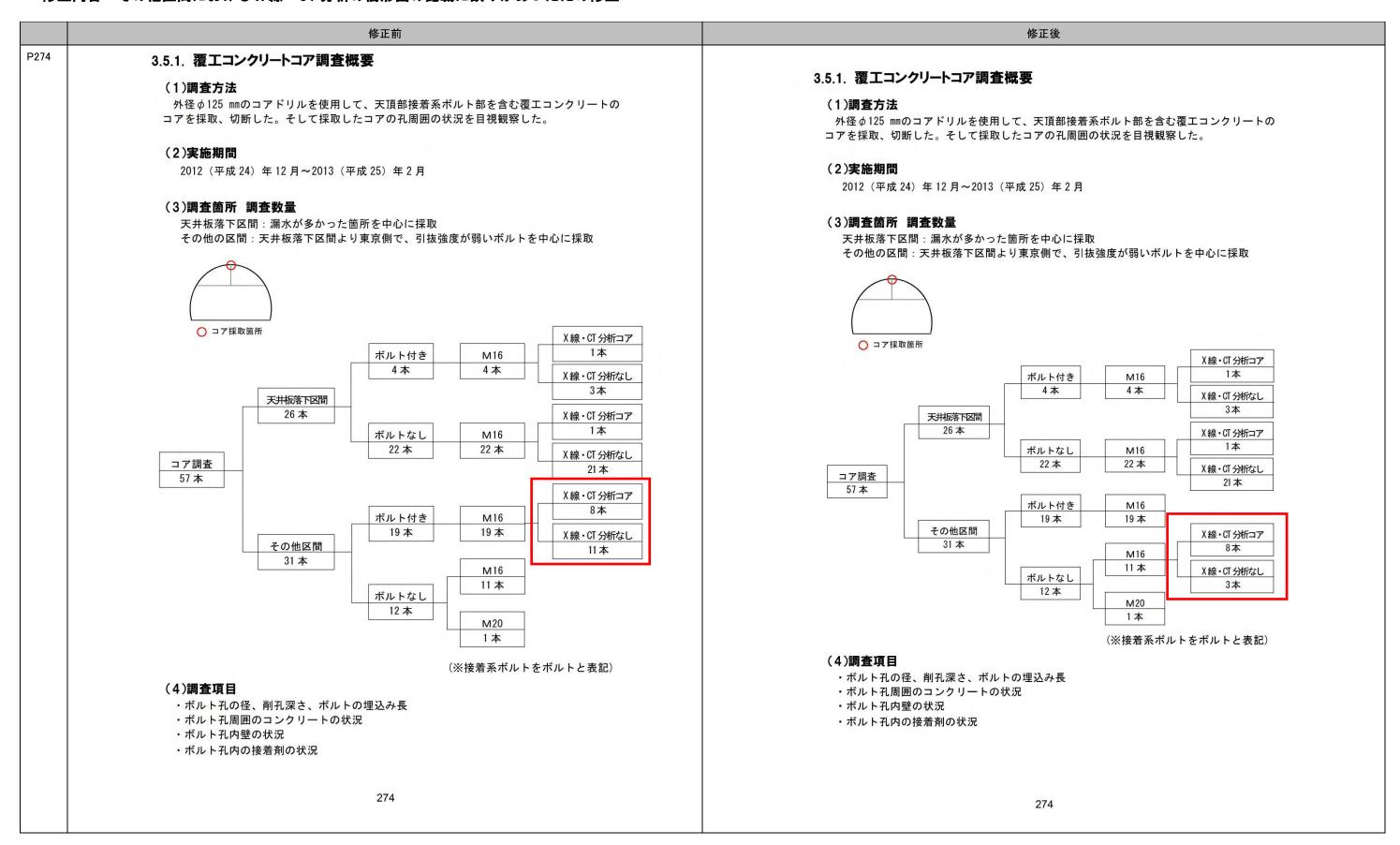
トンネル天井板の落下事故に関する調査・検討委員会 【資料集】

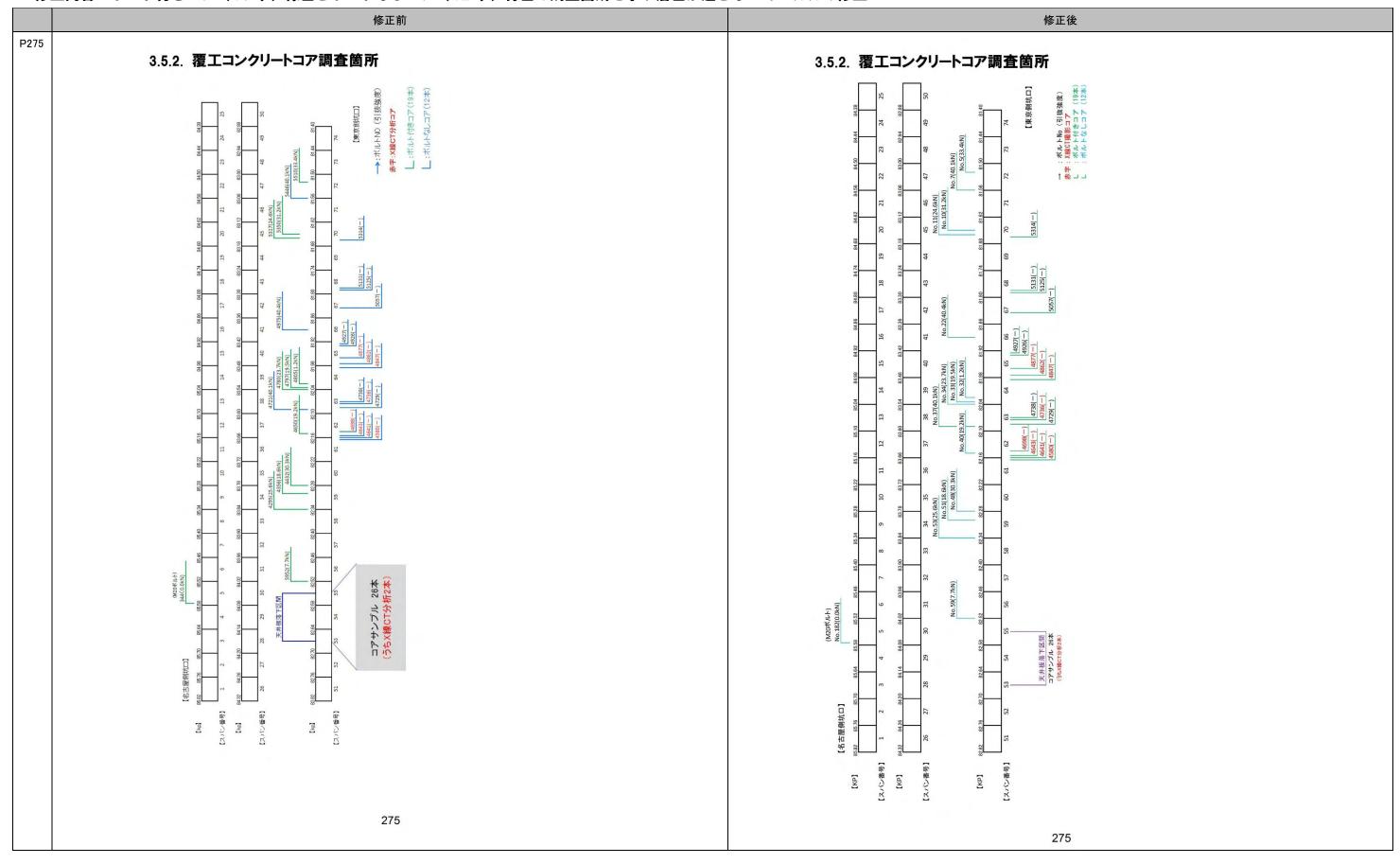
修正前後の対照表

3.5 天頂部接着系ボルトの施工出来形調査の修正

修正内容:その他区間における X 線・CT 分析の樹形図の記載に誤りがあったため修正

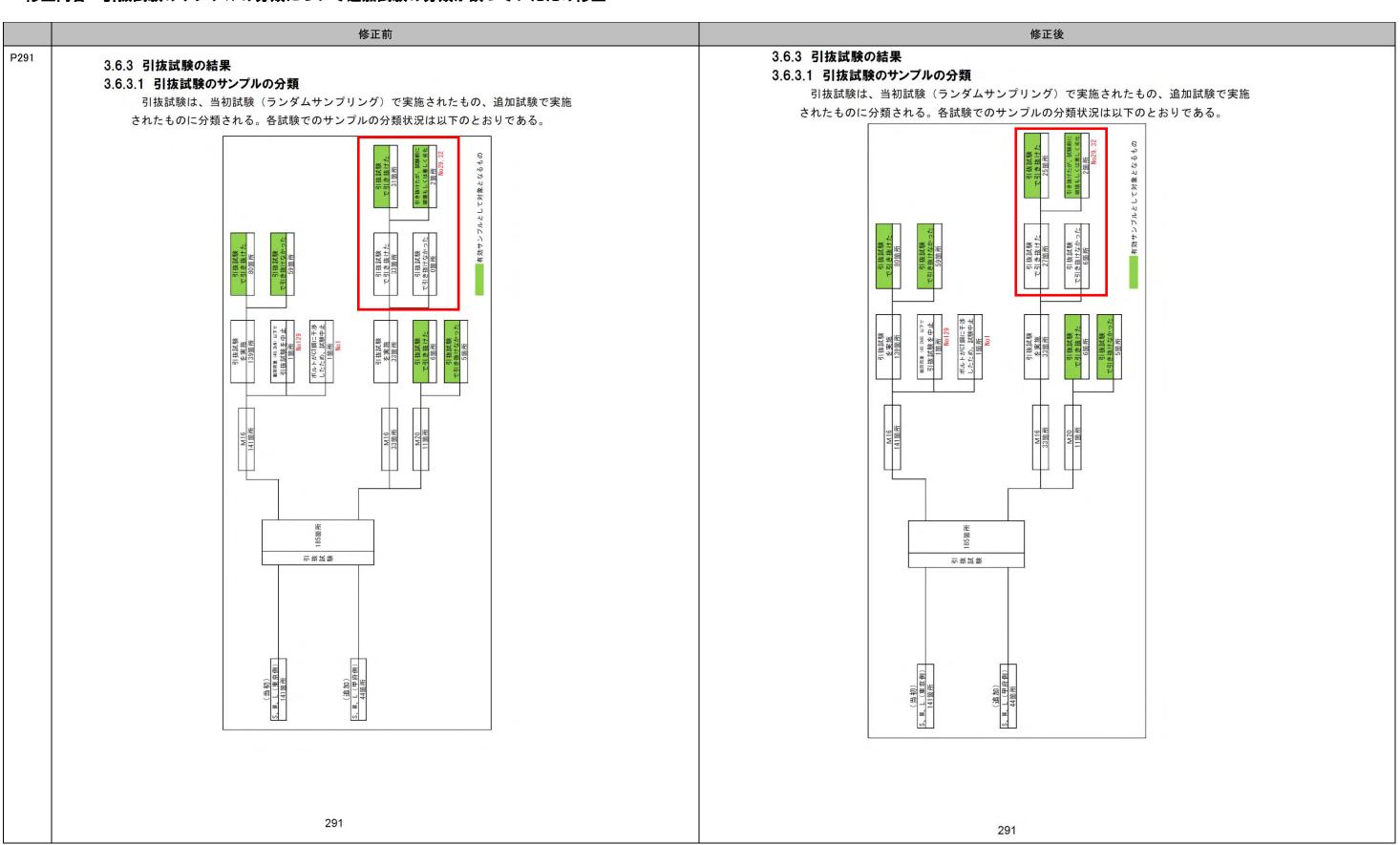


修正内容:ボルト付きコア(19 本)緑色とボルトなしコア(12 本)青色の調査箇所を示す着色が逆となっていたため修正



3. 6 天頂部接着系ボルトの引抜試験

修正内容:引抜試験のサンプルの分類について追加試験の分類が誤っていたため修正



3.6.6.4 ダクト断面別の定着長の分布

(1) 定着長を接着剤付着推定長とした場合

修正内容:図に記載の本数に一部誤りがあったため修正

修正前 修正後 P305 3.6.6.4 ダクト断面別の定着長の分布 3.6.6.4 ダクト断面別の定着長の分布 (1)定着長を接着剤付着推定長とした場合 (1)定着長を接着剤付着推定長とした場合 ・全接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)の平均値は 93 mmであり、設計での定 ・全接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)の平均値は 93 mmであり、設計での定 着長 130 mmを下回っている。 着長 130 mmを下回っている。 ・全接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)は、およそ80~100 mmにピークを有す ・全接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)は、およそ80~100 mmにピークを有す ・ L断面の接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長) は、明確なピークがなく、広 ・ L 断面の接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長) は、明確なピークがなく、広 範囲に分散している。 範囲に分散している。 引き抜けた接着系ポルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 (L断面29本) 引き抜けた接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 引き抜けた接着系ポルトの定着長(接着剤付着推定長) 分布 (L断面29本) 引き抜けた接着系ポルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 (M断面45本) 平均值92.2mm 平均值90.8mm 平均值92.2mm (mm) 49 59 69 79 89 99 109 119 129 139 149 159 ■本数 1 0 0 8 15 9 7 2 2 1 0 0 ■本数 0 0 4 4 5 6 4 3 1 1 0 1 ■本数 0 0 4 4 5 6 4 3 1 1 0 1 引き抜けた接着系ポルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 引き抜けた接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 引き抜けた接着系ボルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 引き抜けた接着系ポルトの定着長(接着剤付着推定長)分布 平均:114.5mm 平均:93.2mm (mm) 49 59 69 79 ■本数 1 0 4 12 21 16 12 5 3 4 1 1 ※ランダムサンプリングにより引抜試験を行ったM16の接着系ボルト141本のうち、 ※ランダムサンプリングにより引抜試験を行ったM16の接着系ボルト141本のうち、 引き抜けた80本を対象とした。 引き抜けた80本を対象とした。 ※定着長は、先端カット部(16mm)を含めた接着剤付着推定長(3.6.7.1参照)とした。 ※定着長は、先端カット部(16mm)を含めた接着剤付着推定長(3.6.7.1参照)とした。 305 305

3.6.7.1 定着長の取り方の違いによる付着強度と定着長との関係

(2) 算出結果 2) 定着長を残存接着剤付着推定長とした場合

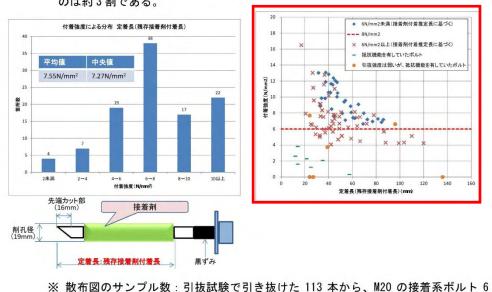
定着長(接着剤付着推定長)(mm)

※ 散布図のサンプル数: 引抜試験で引き抜けた 113 本から、M20 の接着系ボルト 6 本を除いた 107 本を対象に集計。

※1 2.2.2.7 <<特長>>②固着力 (60~150kg/cm²) を根拠とする

2)定着長を残存接着剤付着長とした場合

- ・付着強度は、6~8N/mm²のレンジが全体の分布で最多
- ・材料承認願に添付された材料パンフレットに示される付着強度(6N/mm²)以下のものは約3割である。



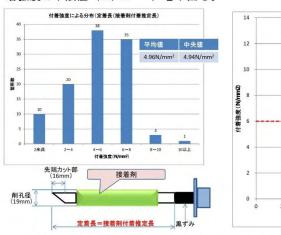
※ 散布図のサンプル数:引抜試験で引き抜けた 113 本から、M20 の接着系ボルト 6 本を除いた 107 本を対象に集計。

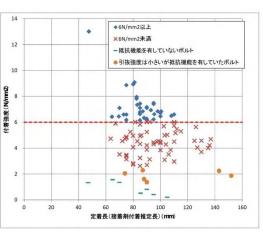
309

1)定着長を接着剤付着推定長とした場合

相当数の接着系ボルトで、材料承認願に添付された材料パンフレットに示される付着強度の下限値 $(6N/mm^2 \times 1)$ を下回る。

修正後



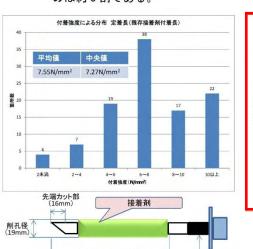


※ 散布図のサンプル数:引抜試験で引き抜けた 113 本から、M20 の接着系ボルト 6本を除いた 107 本を対象に集計。

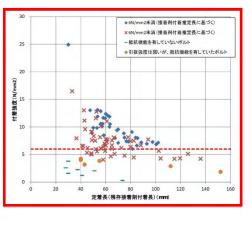
※1 2.2.2.7 〈〈特長〉〉②固着力 (60~150kg/cm²) を根拠とする

2)定着長を残存接着剤付着長とした場合

- ・付着強度は、6~8N/mm²のレンジが全体の分布で最多
- ・材料承認願に添付された材料パンフレットに示される付着強度 (6N/mm²) 以下のものは約3割である。



定着長:残存接着剤付着長



※ 散布図のサンプル数:引抜試験で引き抜けた 113 本から、M20 の接着系ボルト 6 本を除いた 107 本を対象に集計。

309

3.6.7.1 定着長の取り方の違いによる付着強度と定着長との関係

(2) 算出結果 3) 定着長を残存接着剤付着区間長とした場合

修正内容:赤枠の図に一部誤りがあったため修正

